３年生

令和８年度奨学生からのメッセージ

１　これまでの高校生活で感じたこと、考えたこと

・高校に入り同学年が増えたことで、多様な価値観を理解する難しさを実感しました。中学校とは異なり、いろんな考えを持つ友人と意見が合わず悩むこともありました。しかし、自分の考えや思っていることだけで判断せず、相手の言葉に耳を傾け、丁寧に話を聞くように意識しました。この経験を通じ、違いを受け入れ、歩み寄るコミュニケーションの大切さを学びました。今後も多様な人と良好な関係を築く力として生かしていきたいと感じました。
・高校生活では、部活動を通して努力することの大切さや仲間と協力することの大切さを学びました。
・高校の文化祭などを通して、クラスが一致団結する楽しさを学んだ。
・高校生活は小さな社会の中での人との関わりや自分の進む道を今までなかった視野で考える機会をいただける期間、場だと感じています。色んな目標や夢を持った仲間と過ごし刺激を受け、自分の見方が変化することもありました。大きな社会に出る前に他の人にも気を配ることを学んでいます。

２　高校生になって成長した、変わったと感じること

・高校生になり、テストの難易度が上がり、範囲も広くなったことで、自分の学ぶ姿勢が大きく変化したと感じています。中学校の時は直前の追い込みで何とか点数が取れていましたが、高校ではそれが通用しなくなり、計画的に勉強する習慣や、やるべきことに優先順位をつけるということが身につきました。範囲の広さに勉強をしたくなくなることもありましたが、この壁に向き合ったことで効率的な時間管理能力や自己管理能力が成長したと実感しました。
・部活動を通して、忍耐力が身につき、自分から行動することが増え、積極性が身につきました。
・周りの子や環境など、視野が広くなった。
・自分にとって家族の次に大切だと感じる仲間ができたことで、自分の行動や言動に責任を持つ必要を強く感じました。自分も友達もお互いに影響を受けあうので、少しでも良い影響を与える自分でいたいと感じるようになったのは大きな変化でした。

３　将来の進路や将来の夢について

・将来の夢は、人々が自分の歯でいつまでも美味しいものを食べられるように支える歯科衛生士です。私自身、食べることが大好きだからこそ、健康な歯でおいしく食事する喜びを誰もが長く楽しめるようにしたいと考えました。患者さんの笑顔と豊かな食生活を

守るため、専門知識と技術の習得に励み、心から寄り添える歯科衛生士を目指していきます。
・就職後は、仕事を一つずつ覚え、責任感のある社会人になりたいです。
・医療系の仕事に就いて、支えていきたい。
・中学校卒業の頃は好きなことを仕事にしたいと思っていました。でも今は、状況の変化に伴い、自分がしたいことよりも誰かのためになりたいと考えるようになったので、多くの人の役に立てるよう料理の仕事を考えています。調理の仕事で実務経験を積みたいです。

４　その他

・一人の力では成し遂げられないことも協力し合えば達成できると学びました。人を信じたり頼ったりすることも勇気や努力のいることです。そういう大切なことを教えてくださり感謝しています。